

そ お 曾 於 議会だより

2010.2

No. 19

電子黒板の財産取得を可決	2
議会構成が変わりました	4
正副議長就任あいさつ	6
市政を問う 一般質問	7
委員会報告	15
電子黒板を小中学校へ設置	18



4年ぶりの積雪に喜ぶ子どもたち
(しゃら幼稚園・財部町P18参照)

全クラスに設置

1月臨時会



1月5日・8日に臨時会を開会しました。

☆財産の取得

電子黒板システム

(全会一致)

電子黒板システムについては、平成21年7月臨時会で審査、可決されています。

地域活性化・経済危機対策臨時交付金における学校情報通信技術環境整備事業として予算化されていたもので、市内小中学校すべての教室に電子黒板機能付きデジタルテレビを設置するものです。保守点検を含めて保証についての契約検討等の要望が出されました。(18P参照)

○種別	パイオニア WWS-C50E-005
○台数	164台
○取得金額	1億3,314万円 (税込み)

12月定例会

12月定例会は、12月4日に開会し、12月24日に閉会しました。定例会では、曾於市立図書館の設置及び管理に関する条例の改正や平成21年度予算の補正に関するもの他、議案18件、同意案4件、報告1件、電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の発議1件などを審議・議決しました。

条例

☆曾於市立図書館の設置及び管理に関する条例の改正

(賛成多数)

この条例は、市立図書館(曾於市立図書館、市立図書館大隅分館、市立図書館財部分館)を地方自治法に規定する指定管理者制度へ移行するため、条例の全部を改正するものです。

☆曾於市歴史民俗資料館及び郷土館の設置及び管理に関する条例の改正

(賛成多数)

市歴史民俗資料館及び郷土館(末吉民俗資料館、

大隅郷土館、財部郷土館)

を地方自治法に規定する指定管理者へ移行するため、条例の全部を改正するものです。

本館は市立図書館と併設されており、市立図書館の条例と関連して指定管理者を指定するものです。

・財部温泉健康センター

(賛成多数)

(株)山有

期間 5年

(平成22年4月1日)

平成27年3月31日)

・いきいき親水公園

(賛成多数)

(株)山有

期間 5年

(平成22年4月1日)

平成27年3月31日)

指定管理者の指定

・恒吉地区診療所

(全会一致)

曾於郡医師会立病院

期間 3年

(平成22年4月1日)

平成25年3月31日)

・末吉福祉施設メセナ会館

(全会一致)

曾於市商工会

期間 3年

(平成22年4月1日)

平成25年3月31日)

電子黒板を市内小中学校 1億3,314万円を可決



予算

☆平成21年度曾於市一般 会計補正予算 (全会一致)

今回の補正は2億3887万5千円を追加し、累計予算は216億9269万7千円となりました。

歳出増額の主な事業は定額給付金事業や障害者自立支援サービス等の精算に伴う返還金1880万5千円、国保会計への操出金3004万8千円、訪問給食サービスは利用者増の委託料2053万5千円、生活保護対象者の増による扶助費5700万円、新型インフルエンザ対策事業等の委託料5296万3千円、資源リサイクル畜産環境整備事業に対する負担金です。

減額は、子育て応援特別手当事業の中止による3196万1千円が主なものです。

平成21年度曾於市国民健康 保険特別会計の補正 (全会一致)

今回の補正は、医療費増に伴う一般被保険者給付費3億2087万6千円、一般被保険者療養費596万7千円、一般被保険者高額療養費1億57万9千円の追加が主なものであり、4億2750万3千円を追加し、歳入歳出62億2479万2千円となります。

☆平成21年度曾於市老人 保健特別会計の補正 (全会一致)

今回の補正は、平成20年3月までの診療請求件数の増に伴うもので、老人医療給付費61万9千円の追加が主なものであり、歳入歳出4944万4千円となります。

☆平成21年度曾於市介護 保険特別会計の補正 (全会一致)

今回の補正は、保険給

付費の執行見込み額の減額に伴うもので、歳入に
おいては国庫支出金
1083万5千円、支払
基金交付金1346万2
千円、県支出金832万
6千円、一般会計繰入金
503万円等の減額が主
なものです。

歳出の主なものは、保
険給付費4483万4千
円の減額と財源調整に
伴う予備費611万8千
円の追加等で、歳入歳出
43億6361万6千円と
なります。

副市長の選任

副市長の任期満了に伴い、末廣光秋氏の再任について提案があり、同意しました。

末廣 光秋氏(58歳)

(財部町西村)

教育委員会委員 の選任

教育委員会委員の任期

満了に伴い、池田睦朗氏と植村和信氏の再任について提案があり、同意しました。

池田 睦朗氏(68歳)

(財部町南)

植村 和信氏(61歳)

(大隅町西中園)

意見書

☆電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

(全会一致)

電源立地地域対策交付金の水力発電施設周辺地域交付金相当部分については、平成22年度末をもって交付期限を迎えます。

本市にとって必要不可欠な財源であるため(大隅月野発電所が該当)、今後も引き続き同交付金の交付期間延長等を求めるものです。

経済産業省、財務省、総務省等関係機関に提出しました。

～議会構成が変わりました～

議長 大津 亮二

副議長 久長登良男



文教厚生常任委員会（7名）

【担当する課】

市民課・保健福祉課

福祉事務所・教育委員会等

委員長	原田賢一郎	副委員長	大川内富男
委員	山田 義盛	委員	渡辺 利治
委員	久長登良男	委員	谷口 義則
委員	徳峰 一成		



建設経済常任委員会（7名）

【担当する課】

経済課・畜産課・耕地課・産業振興課

建設課・水道課・建設水道課・農業委員会等

委員長	大川原主税	副委員長	西川 熊則
委員	九日 克典	委員	八木 秋博
委員	山下 諭	委員	瀬戸口三郎
委員	迫 杉雄		



22名で新体制スタート

議会広報等調査特別委員会

委員長	大川内富男
副委員長	今鶴 治信
委員	九日 克典
委員	八木 秋博
委員	五位塚 剛
委員	谷口 義則



議会選出監査委員

坂口 幸夫 議員

議長の指名推選により決定

各組合議会議員の選挙は、議長の指名推選で次の議員に決定しました。

大隅曾於地区消防組合議会議員

大津 亮二 議員
吉村 幸治 議員
瀬戸口三郎 議員

曾於地域公設地方卸売市場管理組合議会議員

大川原主税 議員
西川 熊則 議員

曾於地区介護保険組合議会議員

原田賢一郎 議員
大川内富男 議員

曾於北部衛生処理組合議会議員

原田賢一郎 議員
大川内富男 議員
久長登良男 議員

任期は平成21年12月1日から

平成25年11月30日

(議会構成は平成21年12月4日から

平成23年12月3日)

議会運営委員会 (7名)

(副議長・各委員長と委員3名)

委員長	渡辺 利治
副委員長	瀬戸口三郎
委員	原田賢一郎
委員	大川原主税
委員	吉村 幸治
委員	海野 隆平
委員	久長登良男

総務常任委員会 (8名)

【担当する課】

総務課・地域振興課・企画課・財政課
税務課・議会事務局・監査委員事務局等

委員長	吉村 幸治	副委員長	土屋 健一
委員	今鶴 治信	委員	海野 隆平
委員	五位塚 剛	委員	漆間 純明
委員	坂口 幸夫	委員	大津 亮二



正副議長 就任あいさつ



夢の持てる元氣な曾於市を目指して！

議長 大津 亮二



副議長

久長登良男

市民の皆様、日頃より私ども市議会の運営にご理解ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

さて、昨年11月に執行されました市議会議員の選挙におきまして、4名削減し22名の新進気鋭の議員が誕生したところで

その後12月議会において、議員の皆様のご推挙を頂き、議長のお職を仰せつかることになりました。議長に与えられた使命を誠心誠意遂行してまいりますのでよろしくお願ひ致します。

私ども議員は曾於市4万2千人の市民の暮ら

しの安定や福祉の向上のために、「適正な予算措置なのか」、「市民のためになった事業だったのか」など、市民の立場に立った視点で議論を深め取り組んでいるところで

我が国は今、大変厳しい経済情勢の中、かつて経験のない激動の時代を迎えています。政府も日本経済不況の立て直しのため、緊急経済対策を打ち出されましたが、厳しい状況に変わりはなく本市への影響も少なからず出始めているところで

そのような中、曾於市

も誕生して5年目となり

ましたが、基幹産業である農業の振興はこれから大変大事であり、厳しい競争や産地間競争にも対応できる取り組みの推進や、農商工連携の取れた街づくりを進めることが大切と考えております。さらに将来を担う子どもたちに夢の持てるような教育振興の充実や、どこに住んでいても良かったと言えるような福祉社会を目指していかねばなりません。

財政も厳しい状況ではありますが、少ない予算の中で時代の流れに即応した運営が望まれます。

私ども市議会への期待感もさらに高まり、一層重責を担ってくださると感じているところで。今後とも皆様の負託に応えられるよう、夢の持てる元氣な曾於市を目指してさらに努力をしてまいります。

最後に、市民の皆様のご健康とご多幸、また曾於市の益々の発展をご祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。

曾於市も合併して5年目となります。今回の選挙から曾於市全域を区域とする選挙となり、有権者の議会に対する意志反映が一段と促進できることになったのではと思っております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議

平成21年12月4日の本会議において、正副議長及び各常任委員会、並びに各常任委員長の選任が行われ、議員各位のあたにかいご推挙により、副議長の要職に就任させて頂くことになりました。

身に余る光栄であり、もとより浅学非才ではありますが、責任の重さを痛感致しております。

曾於市も合併して5年目となります。今回の選挙から曾於市全域を区域とする選挙となり、有権者の議会に対する意志反映が一段と促進できることになったのではと思っております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議

会が円滑に運営されるよう努力してまいります。私ども議員は、住民の意見や要望を真摯に受け止め、さらには声なき声をも拾い上げる努力を重ね、市民の負託に応えてまいります。

執行部に対しましては、一歩離れて二歩離れずで一定の距離を保ちながら、チェック機関としての機能を十分に発揮するとともに提言もどしどししてまいり所存です。

最後に市民の皆様のご健勝と我が故郷曾於市の限らない発展をご祈念申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議

一般質問
8議員登壇

市政を問う

7月の市長選に向けて

市長／市民の支援を頂いていると思っ
ている



五位塚 剛 議員

五位塚議員 市長として再選されたが、今後4年間の決意と基本的政策は何か。

池田市長 誠実・行動・元気を政治信条として、活力に満ち心豊かでいつも夢と希望のもてる、元氣な曾於市の創造を目指したい。

問 市長選挙としては、3003票差で当選されたが、新聞報道でもあるように、選挙戦の終盤で自民党の森山国会議員が3日連続で強い後押しがあったと書かれているが、これがなかったら得票差

はもっと少なかったのではないか。

市長 3003票の差がつけば市民の大きな支援を頂いたと思っ
ている。1票差でも勝ち
は勝ちである。

敬老祝金は全員支給を

問 市長選挙や市議選での市民の声は、敬老祝金については、70歳以上全員支給を望む声が多いと考える。新年度から対応できないか。

市長 長寿祝金については、節目支給を始めて5年が過ぎた。節目支給を尊重しながら5歳さ
ぎみで支給し、90歳以上は全員支給をすることを検討している。

問 今まで節目支給は合

併協議会で決まったことであるからと一貫した答弁であった。節目支給の変更や90歳以上の全員支給の見直しであるから、白紙に戻すと考えて良いか。

市長 白紙に戻すことはない。マニフェストで支持を得たもの
と考える。

柳迫小校区の駐車場を確保せよ

問 柳迫小前に市営住宅が数軒建設され、地域活性化に大きな役割を果たしている。そのため駐車場が少なくなり、運動会や夏祭り、その他の行事、火災時の消防団の駐車場を含めて不便をきたしている。対応は考えられないか。

市長 学校行事や公民館行事も多くあるが、学校周辺の空き地を利用されている。学校や校区公民館から特に相談などもない。

年末を迎えての 市民生活の状況は

問 長引く不況、そして年末に入り市民生活はかつてない厳しい状況になっている。実態をどうとらえているか。

市長 売り上げ不振や利益減少の会社が調査によると8割となっている。雇用関係でも大変厳しいと思っ
ている。

問 中小企業、商店街、農家、年金暮らしの方への支援策は考えられてい

るか。

市長 商工会員へは設備投資への利子補給や緊急雇用対策商工借入金の保証料の補助、農家へはJAを通じて利子補給を行っている。

問 住宅リフォーム事業について、補助事業を受けやすいように広報など改善すべきではないか。
市長 広報紙や有線放送で広く知らせていく。大工さん等が仕事しやすいよう支援する。



柳迫小隣接地

地域の環境保全対策は

市長／環境保全が地域の活力の
バロメーター



迫 杉雄 議員

迫議員 危険廃屋解体

撤去補助金交付状況はどうかであるか。今後、どのように対応されるか。

池田市長 危険廃屋解体撤去補助事業は、本年度中に市内業者の施工により、廃屋の解体撤去を申請実施した者に対し、対象事業費の3割、30万円を上限に補助する制度であり、臨時の経済対策事業を財源として、1500万円の事業費を計上した。

12月10日現在の補助制度の申請者は15件で補助金額は301万6千円で



廃屋撤去前



廃屋撤去後

ある。この制度は平成21年度限りの制度である。**問** 今回は単年度であるが、平成22年度に向けても地域の景観並びに環境保全のため事業を継続する考えはないか。

市長 危険廃屋撤去については、まちおこしのためにも、今後前向きに対応する。**問** 市道高所支障物除去事業（高所やぶ払い）についての取り組みについて伺いたい。**市長** 高所支障物伐採除去は、所有者に伐採要請を行いながら、自力での伐採ができない箇所は、市で直営作業にて実施している。次年度についても、直

営の高所伐採委託を新たに予算化し、交通障害箇所の解消に努める。

住民参画による協働のまちづくり

問 住民参画のまちづくりについて、市民の意向や施策の反映を把握し、点検されているか。

市長 人口減少、少子高齢化が加速する中、地域住民との協働のまちづくり推進は、今後も重要な課題と認識して、「農地・水・環境保全向上対策事業」等を実施し、点検を行いながら、協働のまちづくりを進めている。

問 地域、集落の格差がないように、集落再生整備基本方針を定める考えはないか。

市長 自治会検討委員会等で議論する。

問 集落や自治会において、職員の集落サポーター制度等については、どのような議論がされているか。

市長 職員による集落サポーター制度は、地域の



住民参画による環境保全対策事業

実情を把握し、地域住民とともに地域の活性化に寄与する制度である。集落サポーターについては他の自治体があるような制度を実施していることは承知している。

本市でも過疎化、人口減が進行する中、集落機能が低下していくので、必要性は感じているところであり、今後、自治会検討委員会で議論していく。

平成22年度の予算編成は (過疎自立促進法を含む)

市長／国の動向を見守りながら編成していく



久長 登良男 議員

久長議員 当初予算の過疎自立促進法との関係はどうなっているのか。

池田市長 現行の過疎自立促進法は、平成22年3月末で期限切れとなるが、政府は3年程度の延長を検討しており、平成22年の通常国会に議員立法で



インフルエンザ集団予防接種

提出の方針である。従って、本市の平成22年度予算は、関係各課に対して過疎法は延長されるものと想定して、予算要求するよう指示している。

問 政府の行政刷新会議の事業仕分けによる影響は考えられないか。

市長 地方の自治体に、現段階ではどれくらいの影響があるのか判断でき

ないので、今後の国の動向を見守りながら対処していきたい。

問 自主財源比率は、いくらぐらいを考えているか。

市長 平成21年度当初予算での自主財源比率は21・9%であった。平成22年度も前年並みになるものと考えている。

問 奉仕作業で学校や自治会等で清掃が終了した

後のゴミ対策についての対応は、どのように考えているのか。

市長 清掃作業等で刈った草や木は、それぞれの自治会等で処分をお願いしている。どうしても処分できないところについては、市で管理している土地に搬入し、仮置きして、産業廃棄物処分場で処理している。

新型インフルエンザの現況は

問 市内の学校、職場等の現況はどうか。

市長 12月2日までの市内感染者の累計は、小学生が170名で全体の8・82%、中学生は102名で全体の8・95%が感染している。保育園では33名の報告があった。

職場では、感染報告は受けていない。また一般会社等については、市への報告義務がないため、把握はしていない。

問 今後の対応策はどのように考えているか。

市長 小学生以下については、曾於市医師会のご協力を頂き、集団予防接種を実施することになった。

農業振興策は

問 畑地かんがい事業が進み、新規作物の取り組みの考えは。

市長 水利用効果の高いショウガやサラダゴぼうについて、試験栽培を行っている。

問 既存の作物の考えは。

市長 曾於市営農ビジョンで推進品目を定め10年後の目標を設定している。

問 お茶価格の低迷に対して、何か対策は考えられないか。

市長 お茶の新植、改植経費に対する無利子の融資制度の活用を推進し、また機械や施設整備については、国県の補助事業の導入による支援を行っている。また茶業振興会の要望を踏まえて検討する。



水利用によるショウガ栽培

事業仕分けの影響は

市長／子育て応援特別手当事業が廃止



瀬戸口 三郎 議員

瀬戸口議員 国の政権が代わり本年度予算への影響で、中止や減額された事業と来年度予算編成の方針について示せ。

池田市長 減額された事業は「子育て応援特別手当事業」の3196万1千円の全額である。

今後、事業仕分けでどうなるのかはつきりしない。来年度の予算編成作業については、市職員一人ひとりが苦しい財政状況下を認識し、長期展望に立った財政運営を進めていく。

大隅八合原地区の振興策は

問 大隅八合原台地の道路や排水路対策は。

市長 八合原台地道路及び排水路等検討委員会です。市道、農道等整備について検討している。道路5路線、排水路5



整備が始まった八合原台地の排水路

路線、農道等を計画し一部着工している。

問 八合原地区にコミュニティセンターのような公的施設が必要であるが、建設できないか。

市長 曾於市総合振興計画で、大隅農産物加工センターを掲げており、建設する。

また、市の施設として職員を配置し併せて会議室等、今後検討委員会を設置し、場所や財源について調査協議を進めていく。

防災行政計画は

問 大隅曾於地区消防組合の今後の施設整備計画を示せ。(特に北部署の八合原への移転建設について)

市長 北部署の高規格救急車、消防ポンプ車の更新、末吉、大崎分駐所の設置。また平成23年度には曾於市防災センターを計画しているので進めていく。

道路行政は

問 大隅南地区の2つの野菜流通センターから東九州自動車道「曾於弥五郎インター」へのアクセス道路として、県道宮ヶ原停車場線(別府〜飯田間)の重要度が高まっている。本路線の一部を市道として改良出来ないか。

答 この道路は県道であるが、延長も長く整備箇所も多く、財政的問題から最小限の整備しかできないとのことである。

しかし平木入り口から別府の交差点までの



曾於弥五郎 IC 周辺地図



大崎町

約1300mは、大型トラック等の往来も困難で、危険な状況であり、曾於地区土木協会の要望項目に取り上げて県に要望していく。

フラワー公園づくりはやめよ

市長／今後、計画・実施していきたい



徳峰 一成 議員

徳峰議員 市長は所信表

明でつつじなど植える公園建設を表明した。しかし、市の財政は厳しい。市長は新年度に国保税の値上げの意向である。今どき公園は建設すべきではないのではないか。

池田市長 この計画は私



花房峡憩いの森

にとつて選挙の公約である。今後数年かけて、計画、実施していきたい。
問 市内の各施設は毎年7〜8億円の赤字である。その一つ、末吉町の花房峡憩いの森は、平成20年度の収入263万円、支出は1237万円である。

新たな公園建設で、これ以上財政を圧迫すべきでない。本日市長は中止を表明して頂きたい。そうでなければ、今後私は繰り返し中止を要求して取

り上げざるをえない。

市長 曾於市の観光の場、市民の憩いの場として公園は必要と考える。私の施策を市民は理解して頂けると思う。

敬老祝金の全員支給を

問 市民や高齢者は70歳以上の全員支給ではなく、市長の節目支給の手直し案を支持しているとお考えか。

市長 そのように考えて

いる。

問 共産党議員団は超党派で3月市議会に70歳以上の全員に支給する条例改正案を提案したい。市長は議会の結論を尊重されるか。

市長 尊重したい。

高くて払えない税金の減免等を

問 市民税、固定資産税、国保税など税金等の未納（滞納）額は総額で5億円に近い。不況と生活苦で払えない方も多い。税金の減免について、川崎市などを参考に直しを検討すべきではないか。

市長 市の財政は厳しい。検討自体はしたい。

問 市は以前課税していなかったトラクターなど農機具まで償却資産として課税している。これらについては、減税対策の立場で減免すべきではないか。

市長 市の財政に余裕はなく、減免は考えていない。

旧大隅町の道路整備の引き上げを

問 市内では旧大隅町の道路整備が遅れている。例えば大隅町にしか見られない集落道は、市は調査を行い、積極的に整備を進めるべきではないか。

市長 全体の調査を行い、計画的に整備を進めたい。県道の整備も大隅町は進んでいない。市道への一部編入と整備の見通しが立たない県道の一部

については、市と県で共同して整備することはできないものか。

市長 市の財政は厳しく、それはできない。

※1・超党派

党派的利害を超えて、関係者が一致協力すること。

※2・償却資産

工場や商店の経営、農業をしている方が、その事業に用いることのできる施設、機械、器具、備品のこと。



農作業に使用される農機具

国民健康保険特別会計の現状は

市長／大変厳しい状況にある



山田 義盛 議員

山田議員 国民健康保険特別会計の来年度の財政見通しは。

池田市長 歳出見込額60億7400万円に対して、歳入見込額約59億1700万円となり、約1億5700万円の歳入不足を生じる見込みであり、税率改正及び一般会計からの繰り入れについて検討を要する。

(税率据え置き、医療費の伸び率5%、基金残全の基金繰り入れ5200万円のとぎ)

問 来年度の国保被保険者一人あたりの保険税は。

市長 現行税率では、一人あたりの保険税は約6万5千円である。歳入不足を補うために、一般会計から約7千万円を繰り入れた場合、税率を10%引き上げる必要があり、一人あたりの保険税は約7万2千円となる。

問 平成22年度以降の当該会計の見通しは。

市長 税収及び国庫支出金が現状で推移した場合、毎年度2億円を超える赤字が予想される。

(単位：円)

	決算額		繰越金 ③=①-②	基金取り崩し額④	基金残高	単年度収支 ⑤=(①-前年度③-④)-②	一人当たりの医療費 (一般・退職)
	歳入①	歳出②					
17年度	5,445,671,686	4,990,526,181	455,145,505	△ 12,426	512,411,682	△ 201,221,896	232,826
18年度	5,820,805,617	5,456,437,045	364,368,572	0	512,411,682	△ 90,776,933	244,042
19年度	6,064,600,784	5,993,628,193	70,972,591	0	512,411,682	△ 293,395,981	258,689
20年度	5,733,631,865	5,680,976,387	52,655,478	135,000,000	377,411,682	△ 153,317,113	267,803

※単年度収支の歳入は、決算額の歳入より前年度繰越金及び基金取り崩しを差し引きした額です。
※平成20年度決算額については、老人医療拠出金等が後期高齢者医療制度へ移行したため、減額となっています。

国民健康保険の実績

長寿祝金は

問 市長は支給年齢の間隔を見直すことは検討するが、全員支給は考えていないとの答弁があるが。

市長 節目の77歳を75歳、88歳を85歳にした5歳さざみの支給、そして90歳以上を全員支給することを検討している。なお、5歳さざみの支給で今までもらわれていない方については、変更時に調整することを考えている。初年度に約4千万円の新たな予算を要する。(初年度は現在の予算約3200万円に約4千万円増の約7200万円、次年度からは現行に約1千万円増の約4200万円となる。)

問 今の苦しい市民生活を考えると国保税値上げ等、これ以上市民に負担をお願いすることは、限界にきていると思う。市民にとって有効な税金の使い途は、長寿祝金の一部見直し(新たな財源約4千万円投入)なのか、

それとも市民の健康と生命を守るために避けて通れない国保会計の財源確保なのか、そのどちらが優先されるのか。

市長 長寿祝金、国保会計どちらも大事な施策である。国保税については不景気の中で被保険者に全てを求めめるのではなく、一般会計からの繰り入れもやむを得ないと考えている。



七村地区敬老祝い会 (財部町)

学区の見直し及び 統合問題は

市長／地域の要望を踏まえて検討する



渡辺 利治 議員

渡辺議員 学区の見直しは。

植村教育長 現行通りでいく。

問 学区外の通学を把握しているか。

教育長 把握はしていないが、教育的関連による変更はある。



平成 17 年 4 月に 4 校統合した大隅中

問 中学校の統合問題について。

教育長 曾於市学校規模適正化検討会で、中学校は財部（財部中・財部南・財部北）と末吉（末吉中・南之郷中）の統合を考えている。

問 小学校の統合はぜひ避けるべきであるが、当局の考えは。

池田市長 中学校統合後、地域の要望を踏まえて検討する。

市職員の時間外 勤務の現況は

問 各課平均残業時間は。 **市長** 43 時間であるが、課によって差がある。

問 代休など納得いく措置はされているのか。

市長 厳しい財政状況から時間外勤務手当の満額支給はできていない。

問 今後も職員の減数はあるが、対応はどうするか。

市長 課、係の統廃合により対応する。イベント等は全庁的な取り組みでいく。

川内団地の道路 拡幅を

問 駐車場は確保されているか。

市長 昭和 55 年から 62 年にかけて、9 棟 176 戸あり、各戸 1 台分確保している。

問 現在の車社会にあわなないが、駐車場の確保対策は。

市長 1 号棟と 2 号棟の間に 28 区画を計画し、まもなく着工する。また、隣の畜産指導センターを利用できる。

問 北側の通路の目的は何なのか。

市長 住棟の北側は、駐車場を取り込んだ計画をしている。

問 北側の通路は狭く、防災、避難など救急車や消防活動に支障をきたすと考えるが、市の考えは。

市長 現状では縦列駐車があり、活動等に支障がある。

問 隣接の樹木の中に不法投棄があり、景観上好ましくなく、拡幅してきれいにする方法はないか。

市長 長期的な公営住宅の維持管理計画を策定し、有効活用を検討する。



川内団地の北側通路（末吉町）

県道塚脇財部線の未改良区はどうか

市長／県へ継続して要望していく



山下 諭 議員

村地区600m、帯野地区700m)が未改良区として残った。
理由は、県はセツト区間を組んで事業を実施しており、今年の工事でのセツト区間の工事が終

了したとのことである。今後は要望に対し、事業評価(優先度基準)、これは必要性、重要性、緊急性、効率性、熟度(地域の協力、事業に対する合意形成等を加味)の5つの要素により選定し事業実施になるとのことである。
この未改良地区区間の整備については、県へ曾於地区土木協会(曾於市、志布志市、大崎町で構成)

要望項目として取り上げて継続して要望していく。

坂元宅地分譲予定地の現況は

問 平成19年に策定された第1次曾於市総合振興計画実施計画に、定住促進整備事業として財部地区が計画され、候補地を財部坂元地区と決定し、現計画では21年度用地等経費、22年度40区画の整備費が計画されている。
また当地への反対要望書も提出されていると聞いている。現況はどうなっているのか。



整備予定の中須団地(財部町)

公営住宅の整備は

問 財部地区内の公営住宅整備の見通しは。

市長 中須団地は全戸数55戸であるが、昭和39年度建設分15戸を解体し、22年度に隣接民有地購入と実施設計、23年12戸、24年に10戸、計22戸を建設する。

財部町内新規団地については、現在用地を物色中で、地域住宅交付事業として、平成23年度からできるよう要望する予定である。

山下議員 9月議会でも質問したが、県道塚脇財部線の上村地区600mの改良計画はないとのことだった。帯野地区700mは当初よりない。現在上村地区は最終工事が行われているが、現場の状況から見るとなぜ改良しないのか理解に苦しむ。詳細な説明と今後の市の対応は。

池田市長

塚脇財部線の総延長は16・5kmで、霧島市内4・3km、改良済み3・8km(88%)、曾於市内12・2km、改良済み10・9km(89%)で、曾於市内は1・3km(上



改良が待たれる塚脇財部線上村地区

市長 当初計画どおり同意を得ることができず、最終的には9名の地権者13筆、面積13,039㎡の田売却の同意を得て、これを実施することとし、平成21年5月8日に仮契約を締結し、22区画を予定している。
その後坂元自治会と周辺の方より「稲作並びに畜産経営に支障をきたし、今まで保全していた景観が損なわれる」として計

市長 農振地域除外、宅地への転用、取得に対するの議会への同意、設計業務を考えると平成22年度の造成は難しいので、作付けをお願いしていくことになると思う。

委 員 会 報 告

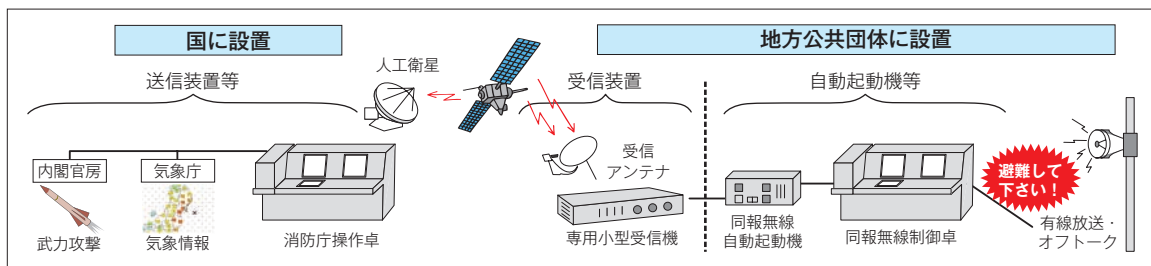
- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

総務常任委員会、文教厚生常任委員会、建設経済常任委員会は、12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（吉村幸治委員長）

☆平成21年度一般会計
予算の補正（所管分）

問 郵便料の補正増は、
答 厳しい財政状況の中、当初予算編成時かなり切り詰めた予算と補助事業等での対応を考えていたが、予定していた分の予算が確保できなかった。
問 全国瞬時警報システム装置工事に伴う入札は、
答 有線とオフトーク放送で繋ぐ部分と機器等の部分に分けて入札できるのではないかと考えている。
※全国瞬時警報システム
通信衛星と市町村の通報系防災無線を利用し、緊急情報を住民へ伝達するシステムのこと。
曾於市は防災無線がないため、有線放送・オフトークの利用を検討している。



全国瞬時警報システム（J-ALERT）

問 定額給付金事業の経済効果は。
答 国の試算では全員が使った場合には、国内総生産比の0・4%程度の効果があるとのことであったが、給付後の使い途などの追跡調査は、本市はしていない。

問 2億円もの財政調整基金を取り崩さなければならなかった理由は。
答 交通対策事業の国庫補助金の組み替えとその他に民生費、新型インフルエンザ対策事業等にそれぞれ充当するものである。

問 今後の財政調整基金の見通しは。
答 平成22年度当初予算編成は一般財源の持ち出しを前年度の90%に押しさえるように各課等に指示している。

今後、一般財源の持ち出しを控えながら、基金の取り崩しを少なくする工夫をしていかなければならない。

問 130万円以下の修繕費等に係る届け出の申請は。
答 市は県より若干低いという点もあるが、評点の見直しなどを今後やっつけていかなければならないが、なかなか厳しい問題があるので検討したい。

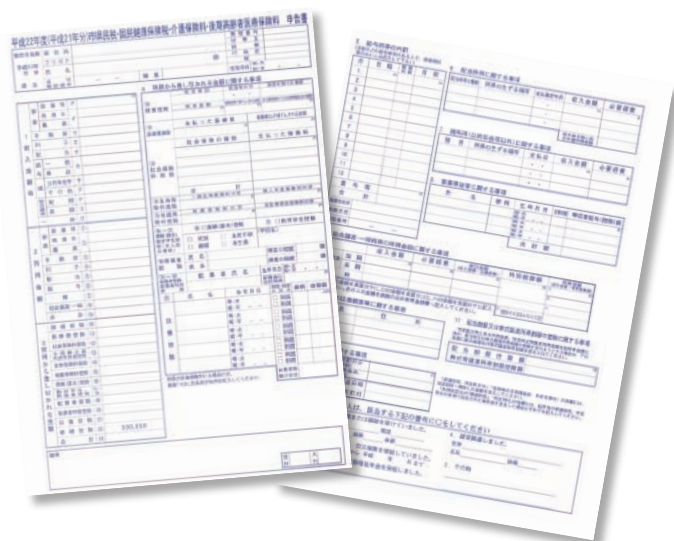
問 業者の入札ランクは。
答 工事成績や入札金額の評点などを加味して指名選考委員会で業者を選考している。

問 今のところ、特に考えていないので検討したい。
答 業者の入札ランクは、工事成績や入札金額の評点などを加味して指名選考委員会で業者を選考している。

問 県と曾於市の評点の方法が違うのは。
答 市は県より若干低いという点もあるが、評点の見直しなどを今後やっつけていかなければならないが、なかなか厳しい問題があるので検討したい。

問 住民税申告書様式変更
更委託料は。
答 市民の方々によりわかりやすい様式に変更することに伴う印字をするための経費である。

意見 国及び本市の財政も非常に厳しくなっているため、予算編成の在り方については、絶えずどうい予算の方が本市の負担が少ないかなど勉強して、努力をすべきである。



様式変更された住民税申告書の表裏

☆市立図書館の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定

問 当施設を指定管理者制度へ移行するための改正であるが、その目的と市立図書館協議会との関係はどうなるのか。

答 民間のノウハウを活用し、サービスの向上や業務の迅速化を図りたい。協議会と管理者との関係は、お互いの役割を明確に確認することで、民間への丸投げにならないように運営を行っていきたい。



幼児の利用も多い市立図書館

☆市財部温泉健康センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

問 温泉健康センターと総合交流ターミナルを一つの施設として一本化される改正内容だが、補助金等の関係はどうなるのか。

答 県にも確認したが、条例を一本化しても、施設をその目的にあうように使用すれば問題はない。

☆指定管理者の指定（財部温泉健康センター）

問 公募の内容と指定管理期間を5年間としたことについて。

答 2社の応募があり、指定管理者選定委員会で（株）山有に選定した。期間については、これまでの安定的な運営状況を踏まえ、協議の結果5年間と定めた。

☆指定管理者の指定（恒吉地区診療所）

問 診療所の概要と実績について。

答 曾於郡医師会立病院へ指定管理するもので、毎週水曜日と土曜日の午前中が診療日である。平成20年度の受診者数は663名である。

☆平成21年度一般会計予算の補正（所管分）

問 養護老人ホーム清寿園のsprinkler設置工事を行う根拠は。

答 消防法の改正により平成23年度までに設置しなければならないものである。

問 子育て応援特別手当事業（3196万1千円）の全額を減額し事業を行わなくなった経緯について。

答 国の政策により本市においても既に予算措置されていたが、政権交代



恒吉診療所（大隅町）

☆平成21年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正

による国からの執行停止通知に基づき、全額を減額するものである。

答 本年度に約3億2476万円を取り崩し、年度末残高は約5265万円の見込みである。医療費が増加する中、厳しい運営状況となっている。

問 国民健康保険給付支払準備基金の状況と今後の国保会計の見通しは。

☆市道路線の認定
（大隅町長迫口線）

問 市道認定として申請のあった部分については、県で整備して渡すということだったので、確実にそうなるように。

答 条件整備については、要望書を出している。

☆指定管理者の指定

問 メセナ会館の利用状況は。

答 音楽室やトレーニング室の利用が伸びている。

問 いきいき親水公園の管理運営については、2社の応募があったという

答 株式会社鹿児島の総合人材センターが行い、選定委員会で総合的に判断して決定した。

☆平成21年度一般会計予算の補正（所管分）

問 東九州自動車道は、今後どうなるか。

答 先が見えず心配している。また都城・志布志道路の予算が大きく削減されていることもわかった。

問 財部農村婦人の家の利用状況は。

答 平成20年度が217人、平成21年度が10月末で194人である。

問 中山間地域整備事業（大隅地区）の補正の内容と場所は。

答 集落道の整備2路線と次年度予定の集落道の委託業務を計画している。場所は里ヶ山の集落道で中坂元から国道10号線に向かう道路、もう一つは新原の公民館から高田川沿いにある排水路の整備、川床自治会から柳井谷自治会への委託業務である。

問 農業者年金の加入状況は。

答 受給者数は平成21年3月末の決算時点で1418人。加入者数、

掛金を払っている加入者数は、174人、現在10人を確保しており、目標まであと4人となっている。



メセナ会館のトレーニング室



財部農村婦人の家の加工施設

小中学校全クラス設置は県内初 電子黒板 財産取得を可決

1月5日・8日に開会された臨時会で、電子黒板164台の財産取得が可決されました。(3P参照)
市内小中学校各クラスへ、1台ずつ電子黒板が設置されます。

【電子黒板とは】

学校で使用される電子黒板は、大画面薄型テレビのディスプレイを使用したものです。

＜電子黒板の機能＞

- ・パソコン・DVDなどの映像の表示やスキャナーカメラで映して拡大表示ができる。
- ・画面に書き込みが直接できる。
- ・映像や音声を記録することができるため、後で配布可能である。

※上記の機能を授業に取り入れると、子どもたちの集中力を高め、発表への積極性が出てくることが期待されます。



電子黒板を利用した図工の公開授業（末吉町深川小）



向江公園（末吉）

正月早々、鹿児島にも4年ぶりに雪が降りました。
財部のしゃら幼稚園の園児の皆さんは、初めて雪を見たようです。雪だるまを作ったり、走り回ったり大変喜んでいました。
(五位塚)



表紙によせて

編集後記

おめでとうと言う言葉がむなしく聞こえる不景気の風が吹き荒れる中でも、やはりお正月は心改まる節目であります。皆様はどのようなお迎えになられたでしょうか。

昨年11月の市議会議員の改選により、議会構成が変わりました。今回の議会だよりは、新メンバーによる初めての発行となります。

この編集には私ども委員一同研修を重ねながら、わかりやすく親しみやすい紙面作りに努力して参りますので、皆様ご愛読下さいますようお願いいたします。

最後に昨今の厳しい状況ではありますが、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。
(大川内)

広報委員が

かわりました

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査 特別委員会

委員 長	大川内 富男
副委員 長	今鶴 治信
委員	九日 克典
委員	八木 秋博
委員	五位塚 剛
委員	谷口 義則
発行責任者	大津 亮二